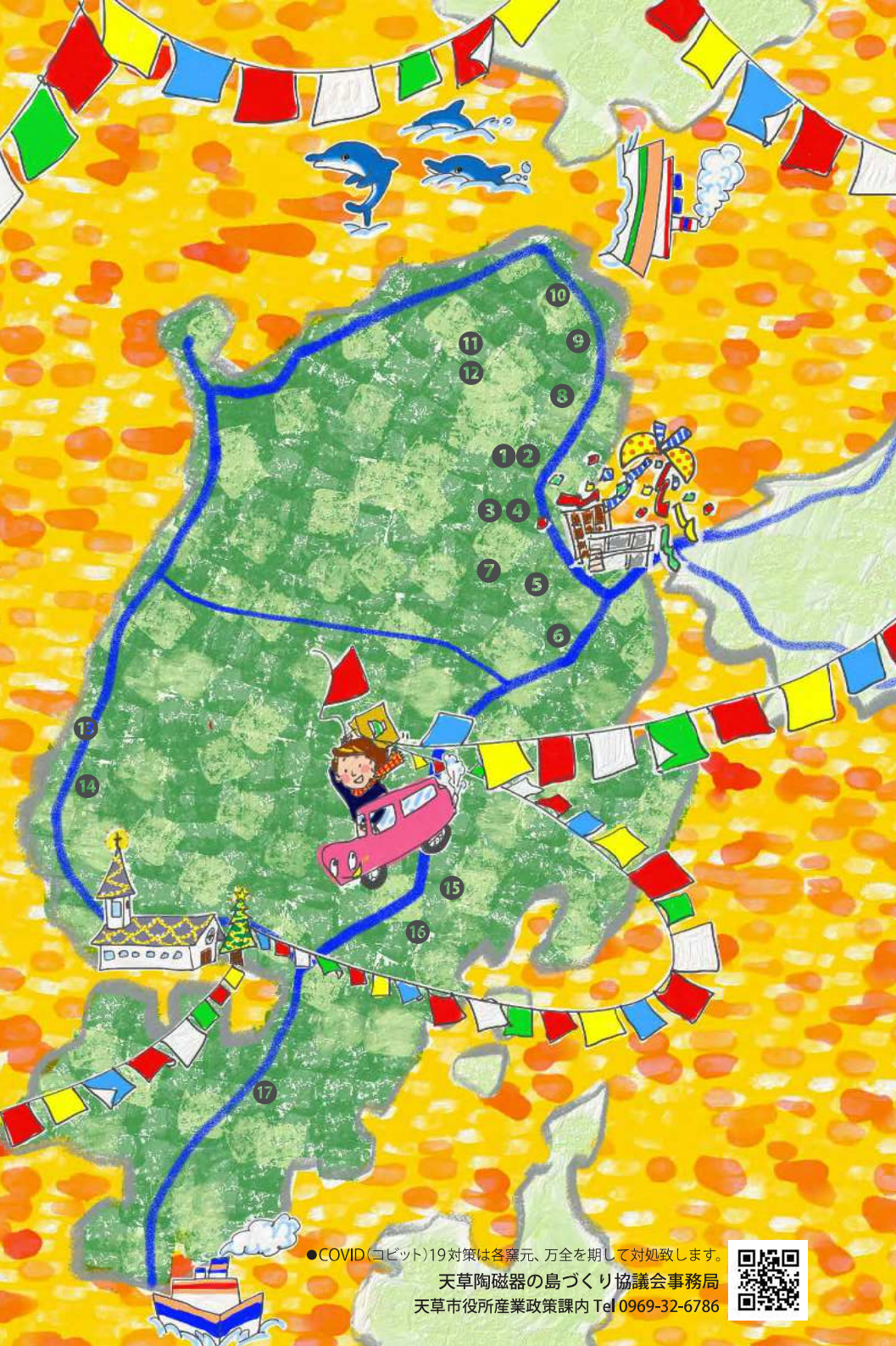


天草
窯元
たより

神無月
霜月
師走

2022



①水の平焼
天草市本渡町本戸馬場 2004
Tel / Fax 0969-22-2440

②器峰窯
天草市本渡町本戸馬場 2004
Tel 090-9608-0837

③丸尾焼
天草市北原町 3-10
Tel 0969-23-9522 Fax 050-3488-9252

④HIROKI KANAZAWA
天草市北原町 3-10
Tel 090-7164-0602

⑤陶房スイ
天草市諏訪町 7-4
Tel 0969-33-9577

⑥工房 樹機
天草市伊宇土町 1672
Tel 090-2502-3547

⑦山の口焼
天草市本渡町本渡 1755-3
Tel / Fax 0969-24-2072

⑧あよお
天草市佐伊津 4869
Tel 090-3738-1102

⑨陶丘工房
天草市五和町御領 7005-1
Tel / Fax 0969-32-2502

⑩鬼池焼 光窯
天草市五和町鬼池 839-2
Tel 070-4098-2294

⑪市山くじらや
天草市五和町手野 1丁目2909
Tel 0969-34-1156

⑫森山陶器
天草市五和町手野 1丁目3077-2
Tel 0969-34-0140

⑬天草唐津十朗窯
天草市天草町下田南 426-2
Tel / Fax 0969-42-3143 Mobile 090-5081-1316

⑭高浜焼 寿芳窯
天草市天草町高浜南 598
Tel 0969-42-1115 Fax 0969-42-0640

⑮河浦焼 天草陶楽庵
天草市河浦町新合 2068
Tel 0969-76-0777

⑯陶人房 とらい
天草市河浦町新合 2013-1
Tel 080-6555-0124

⑰うつき窯
天草市久玉町 1983
Tel 090-5083-1785

●COVID(コビット)19対策は各窯元、万全を期して対処致します。
天草陶磁器の島づくり協議会事務局
天草市役所産業政策課内 Tel 0969-32-6786



[天草大陶磁器展]
11月2日(水)～6日(日)

3年ぶりの天草大陶磁器展
全国から90を超える窯元が
天草市民センター体育館に大結集～!

日比野克彦氏(東京藝術大学学長)を囲み
ワークショップや、
珈琲界のレジェンド大坊勝次氏による
珈琲の会、
そして、
うまかもんいち、講演会など、
お楽しみが盛りだくさんです。



[西海岸秋の窯元めぐり] 10月7日(金)～11日(火)

1 水の平焼
 Open 10:00~17:00 年中無休
 Tel 0969-22-2440



早いもので、2022年も残すところあと3ヶ月余りとなりました。年初に、目標といたう「今年はこうなればいいなあ」と思っていた事が、上手くいったものもあり、またそうでないものもあり…みなさんはいかがでしょう？
 当窯元としては、釉薬の発色が安定してきた事、これが一番大きいです。
 これから年末〜来年へ向けモチベーションを高めて頑張りたいと思います。



2 器峰窯
 ki bou goma



Open 10:00~17:00
 Tel 090-9608-0837

今年の夏は記録的な猛暑となりましたが、やっとなど過ごしやすい季節になりました。

秋から冬にかけてオススメなうつわを並べてお待ちしております。



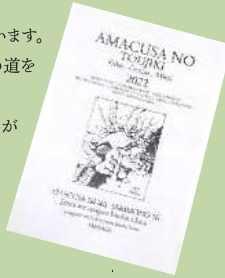
**窯元
 窯元コラム
 ラム**

今 天草には数多くの窯元が在りますが、私の所も含め後継者が居る所は少ないと感じています。
 天草市の取り組みで小学校の作陶体験をさせてもらっていますが、その中で感じるのは、この中から焼物を仕事にしてくれる人が生まれて来てくれれば良いのになという事です。

AMACUSA NO TOUJIKI Kako Genzai Mirai という天草の陶磁器について書かれた本があります。その最後に産地化へ向けてのメッセージが天草陶磁器の島づくり協議会会長の金澤一弘氏より発信されており、その中で「眼と手の届くモノ作りの島」が理想だと書いてあり、私もその通りだと思います。

眼は意識の象徴だと思いますし、手は温もりの象徴だと思っています。それに島ならではの距離感。これからの人と物との関わり方の道を示しているのではと感じます。

天草に今以上に多くの創り手とそれに共感する使い手の人たちが集まってきて共に繁栄していく島になる事を願っています。



陶丘工房 末石 昌士

神無月 霜月 師走
 この他にも月の異称は沢山あってとても覚えきれない程。

3 丸尾焼
 AMACUSA MARU
 Open 10:00~17:00
 年中無休 Tel 0969-23-9522



暑い熱い夏をくり抜けたらどんな秋がやってくるのでしょうか。
 気候の変異は今に始まったことではないからしませんが、すこし予測不可能な最近です。
 ところで、駐車場朝市始めました。毎月第4日曜の朝市、お時間合えば是非お越しください。



二年ぶりの天草大陶磁器展の開催とても楽しみます。

4 HIROKI KANAZAWA



Open 10:00~17:00 年中無休
 丸尾焼と同じ住所です。



どんな時も素々と器をつくっています。秋も冬も変わらずつくり続けています。

5 陶房スイ



Open 木・金・土
 10:00~16:00 (土は13:00 まで)
 不定休 (お電話ください)
 Tel 0969-33-9577

お料理が映える器作りを目指しております。
 器のバリエーションも増えましたのでお手に取って頂けると嬉しいです。



6 工房 樹線
 kiki



Open 10:30~17:00
 不定休 (お電話ください)
 Tel 090-2502-3547

天草陶石にプラチナのアクセント。好きな手ひねりを中心に、他にも赤と黒の器を作っています。



天草大陶磁器展 11月2日(水)~6日(日)close致します

7 山の口焼



Open 不定休 10:00~18:00
 Tel 0969-24-2072

この期間も山の口焼では、通常での営業をしております。新作のうつわや、この時期にオススメなうつわをご用意してお待ちします。また、お隣の山の口食堂ではランチもご利用頂けますよ。こちらも合わせてお楽しみ下さい。



山の口食堂 (日・月休)
 11:30~14:00
 天草大陶磁器展 (11月2~6日)の期間は山口食堂はclose致します。

8



不定休 / OPEN日はInstagram、HPをご覧ください

あよの屋も秋の風の日が暮れた一日の終わりに個個であたたかなお茶を飲むのいい季節となりましたしづかなときを共に過ごすうつわをみにつくっていらしてください



Instagram @ayoc_pottery_naoki
 HP : ayoyake-shiki.com

9 陶丘工房



Open 10:00~17:00
 Tel 0969-32-2502

お盆前よりコロナに感染しお店は閉めて、黙々と作業をしていました。コロナに罹り普通の出来事に感じました。11月の天草大陶磁器展の時はどんな感じだろうと思いつつ次第ではありますが、中止はないのではと考えています。その間にもいろいろイベントはあるのでひとつひとつを淡々と仕事していると思っています。気候も少し異常な感じを受けましたが、幕末の志士高杉晋作の句を思い出しました。

面白きことの無き世を面白くすみなすものは心なりけり



10 鬼池焼 光窯



Open 9:00~17:00 不定休 (お電話下さい)
 Tel 070-4098-2294

「置(こ)うての幸い、売(う)ての幸せ」五鈴屋の心願一誰の精進も無駄にせず、決して利を貪らず、求めるひとのもとへ、吟味した品を届けたいーあきない世傳 金と銀十三大海潮(シリーズ作者 高田郁)がとうとう完結、涼了したところで。江戸時代、女呉服店店主となった幸の物語。


この秋も、光窯では、魚、猫、トルブルーの器たちを窯出してお待ちしています。



写真は旅立って行った猫ちゃんたちが、鯛い主さんに野原でお散歩させて貰ってるところ。

難しいところでは
 十月 建亥月 (けんがいつき)
 十一月 建子月 (けんしげつ)
 十二月 建丑月 (けんちゆうげつ)
 とあまり馴染みがない

浪漫チックな感じでは
 十月 時雨月 (しぐれつき)
 十一月 雪待月 (ゆきまちつき)
 十二月 果ての月 (はてのつき)
 まだまだ色々あるけれど
 今年の暮れぐらいは
 春待月 (はるまちつき) で締めくりたいもの



工房樹機 井上 由香里

11 市山くじらや



Open 午前中 10:00~12:00 不定休
 Tel 0969-34-1156

天草大陶磁器展に出展のため制作のため店は休みの日が多くなり、営業の場合も午前中のみとなります。ブログの更新やお電話でご確認ください。



出かけるごとに会うことに遠慮がちに過ごしていますが未来に指折り数えるようなことをアレンジするのがこ数年の暮しのコツだったといえそうです。久しぶりの天草大陶磁器展たのしみしています。

12 森山陶器



Open 10:00~17:00 日曜日休み(不定休)
 Tel 0969-34-0140

段々と涼しくなる季節がやってきます。目に映る藍色や匂いが少しずつ変わり、肌で感じるものも少しずつ変わる。きつと味覚も変わるのだと思うと、今朝食べた普通のご飯が尊く思える。近頃、しみじみと美味しいと思えるのは、高菜漬けに焼き魚をほくして混ぜて、炊きたての真っ白いご飯に乗せて食べる、名も無い料理。新生姜の酢漬けに、実山椒の塩漬け、糠漬け、などなど日本には湧けの文化が広く根ざしている。漬物を極めると食卓はくっつき盛り上がることでしよう。
https://www.instagram.com/moriyama_touki/



13 天草唐津 十勝窯



Open 10:00~17:00 不定休
 Tel 0969-42-3143



かつて天草陶石の積出港だった小さな入り江に工房を構えて夫婦ふたりで作陶しています。材料は、陶石や土、灰にいたるまで手間をかけて精製し作品へと昇華させます。唐津の伝統技術と有田で学んだ染め付けから生まれる作品と心地のよい入り江の風がお待ちしております。

14 高浜焼 寿芳窯



Open 8:30~17:00
 Tel 0969-42-1115



10月からの天草は西海岸の窯元めぐり 10月7日(金)~11日(火)に始まり 11月には天草大陶磁器展 11月2日(水)~6日(日) 行楽がてらに天草の景色を眺めながら 現にいたるまで手間をかけて精製し作品へと昇華させます。お気に入りの焼き物を探しにお出かけ下さい。

15 天草陶楽庵




Open 9:00~17:00
 定休日(火曜日) 不定休 (お電話下さい)
 Tel 0969-76-0777

地元天草の土を使い、釉薬用の灰も自家製して作陶しています。主に普段使いの器を使い易い様に心掛けていますので、ぜひ手に取ってご覧ください。陶器体験も出来ますので、旅の思い出作りやプレゼントにも是非どうぞ。(要予約)




17 うつぎ窯



Open 不定休 (お電話下さい)
 Tel 090-5083-1785

4月の田植え、そしてその後の薄さにピーピー言いながらなんとか稲刈りを済ませたおもてたら、、、 あら？何処からか涼しい風が、、、 ああもうこんな季節なんですね。窯詰めを急がなくなっちゃ。ああ なんて人生は忙しいんだ！

さて、この慌ただしい日々の積み重ねが作陶にどう現れているのでしょうか？



お楽しみに

天草の窯元の多くは個人で作陶しています。展示会等で長期不在となる場合もありますので「不定休」と表示がある窯元へお出掛けの際は、事前にお電話にてご確認ください！



ホームページで各窯元の情報が見られます。
<http://amakusatojiki.com>